製品安全データシート

作成 2006 年 5 月 1 日

1．製品名及び製造者情報

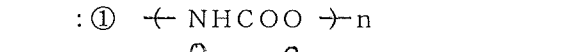
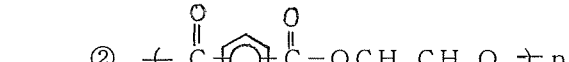
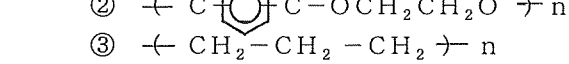
製品名　：ダイウレシート（DA－8・DA－4）
会社名　：株式会社ダイウレ
所在地　：大阪府大東市御領４丁目３番１１号
担当部署　：品質保証部
担当者　：山本政範
電話番号　：072-871-3161
ＦＡＸ番号　：072-873-6271

2．組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名　：①ポリウレタンフォーム（再生品）
②ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）
③プレピレンホモポリマー（ＰＰ）

含有量　：①９４％
②５％
③１％

化学式　：①

②

③


ＣＡＳ　No.　：①該当なし
②25038-59-9
③9002-88-4

3．危険有害性の要約

分類の名称　：①該当せず
②該当せず
③該当せず

危険性　：①可燃性
②可燃性
③可燃性

有害性　：①燃焼或いは加熱成形加工時、有害性分解ガスが発生する
②燃焼或いは加熱成形加工時の蒸気・ガスは、目・呼吸器を刺激する
③通常の暴露経路での特記すべき有害性については知られていない

4．応急措置

目に入った場合　：清浄な水で充分に洗浄し、不快感が残るようであれば、眼科医の手当を受ける

皮膚に付着した場合　：取り去る
溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ充分に冷やし、医師の手当を受ける

吸入した場合　：高温時の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入したときは、口・鼻・気管支等から取り除き、新鮮な空気のある場所に移ること。呼吸困難やその他の症状が出たときは、医師の手当を受ける

飲み込んだ場合　：出来るだけ吐出し、異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける

5．火災時の措置

消火方法　：多量の水が最も効果的
延焼の恐れの無いよう、水スプレーで周辺を冷却する
消火活動に際しては、有害な一酸化炭素や塩化炭素ガスが発生するので、ガスや煙を吸入しないよう、消火作業は風上から行ない、状況により呼吸保護具を着用する

消化剤　：水・粉末・泡・炭酸ガス等

6．漏出時の措置

人に対する注意事項　：粉末状態で床面に残ると滑る危険性が高いため、こまめに処理する

環境に対する注意事項　：水面への漏出については、鳥類・魚類等への悪影響の可能性が有るため、全て回収すること

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い　：①水漏れに注意し、火気を近づけないよう注意する
②長時間屋外に放置すると、紫外線劣化する傾向にある
③火気に近づけないように注意する

保　管　：直射日光、水漏れ、急激な温度変化等を避け、適当な換気のある場所で保管する
貯蔵場所では火気を使用しない

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度　：設定されていない

許容濃度　：設定されていない

設備対策　：取扱い及び保管上の注意に準ずる

保護具　：作業服、手袋は状況に応じ着用する

9．物理的及び化学的性質

外観　：シート状固体

沸点　：該当しない

融点　：熱硬化性樹脂故に明確な融点は示さない

揮発性　：該当しない

溶解度　：水に不溶

10．安定性及び反応性

可燃性　：消防法指定可燃物

発火性　：自然発火性　４００℃以上

水との反応性　：なし

酸化性　：なし

自己反応性・爆発性　：なし

粉塵爆発性　：なし　③粉末状の樹脂は、爆発性、混合気を形成する場合がある

安定性・反応性　：一般的な貯蔵、取扱いにおいては、安定で反応性はない

11．有害性情報

皮膚腐食性　：なし

刺激性　：加熱溶解時等の蒸気・ガスは、目・呼吸器を刺激する

感作性　：なし

急性毒性　：報告されていない

がん原性　：顔料（カーボンブラック）には、がん原生の可能性がある IARC グループ２Ｂに分類されている

変異原性　：なし

生殖毒性　：なし

催奇形成　：なし

その他（水と反応して有害なガスを発生する）　：なし

12．環境影響情報

分解性　：自然放置による分解は殆どない（日光照射で徐々に分解し、粉化する）

蓄積性　：なし

13．廃棄上の注意　：地方行政に従って廃棄する

14．輸送上の注意　：取扱い及び保管上の注意に記載の事項に準ずる

15．適用法令

消防法　：指定可燃物（合成樹脂類）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律　：産業廃棄物、廃プラスチック類

16．その他の情報

主成分であるポリウレタンフォームは、MSDS 制度の定めるところの MSDS の提出が義務づけられるべき製品の対象外である「固形物」に該当するため、本製品安全データシートは MSDS の書式を定めた「JIS　Z7250」に準拠した形で作成致しました。